

国語科 小学校 1年

単元名「どうぶつのはな」
東京書籍（旧版）
「あたらしいこくご 一上」

単元の流れ（全9時間）

【第1次】

主な学習内容

- ◇第1時 かばの鼻のアップの写真を見て、想像したことを発表する。
写真を見ながら気が付いたことを、グループで話し合う。

「活用」の育成のために

かばの鼻の写真を提示して考えさせる。（ポイント①）

【第2次】

主な学習内容

- ◇第2時 主述の関係を押さえながら、かばの鼻の特徴と便利さについて読み取る。
- ◇第3時 主述の関係を押さえながら、はりもぐらの鼻の特徴と便利さについて読み取る。
- ◇第4時 主述の関係を押さえながら、ぞうの鼻の特徴と便利さについて読み取る。

ワークシート例(1)(2)(3)

CLICK

「活用」の育成のために

主述の関係をおさえる。説明の順番に気付かせる。（ポイント②③）

【第3次】

主な学習内容

- ◇第5時 動物について、もっと知りたいことを本などで調べる。
- ◇第6時 主語と述語の関係に気を付けながら、各自がクイズづくりをする。
- ◇第7時 グループ内でクイズを発表し合う。

クイズ用ワークシート例

CLICK

「活用」の育成のために

主述の関係をおさえる。聞き手を意識して表現させる。（ポイント②④）

【第4次】

主な学習内容

- ◇第8時 クイズを発表して話し合う。（本時）
（クイズ大会）
- ◇第9時 動物についてもっと知りたいことに関して、本などを読む。（読書）

評価問題

CLICK

単元目標

- 主語と述語の関係に気を付けて内容の大体を読む。

単元構成の意図

1年生になって初めての説明的な文章教材であり、動物の鼻の特徴と便利さについて写真とともに紹介している。

本単元では、写真と文とを結び付けたり、主語と述語の関係を押さえながら、興味を持って読み進めたりできるようにすることが重要である。

また、主語と述語の関係を意識したクイズづくりや、クイズを互いに発表して答え合う展開が、表現力や思考力などを育てることにつながる。

さらに、単元末に文章を読む楽しさを広げるため、読書の時間を設ける。

「活用」の力を育てるポイント

- ①本文の構成を生かし、まずかばの鼻の写真を掲示して問いかけ、答えさせてから、次ページを読ませるなど、読むことの楽しさを味わわせる。
- ②低学年で指導する言語事項として重要である主語と述語の関係を常に意識させるため、主語と述語がはっきりした文で関係をおさえ、主語が省略されている文でも主語をとらえられるようにする。
- ③問いかけ文の後に答えが記述されていること、動物ごとに写真、特徴、便利さの順に説明されていることなどに気付かせる。
- ④クイズの解答に対して「その通りです」と適切に応じるなど、常に聞き手を意識して表現させる。
- ⑤毎時、学習事項を振り返らせる。

HOME

本時の流れへ